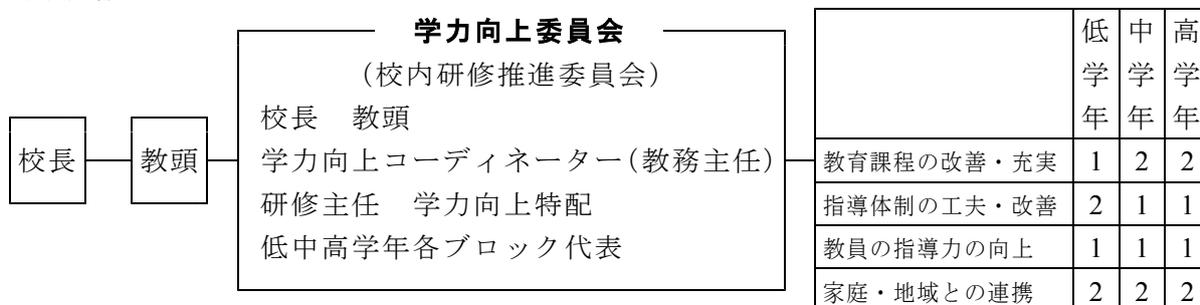


1 学力向上推進計画

子どもたち一人一人に確かな学力を身に付けさせるために、学力向上コーディネーターが中心になり、学校として、組織的・継続的に学力向上対策に取り組む。

1 組織的・継続的な取組

(1) 組織



(2) 組織的・継続的な主な取組

校内研修のテーマとして取り上げ、主体的に学ぶ子どもを育てることを目標に、全校で取り組む。今年度は算数・理科を中心に研修を進めていく。また、家庭学習の充実を図るために、ねらいや内容について教職員間で共通理解を図り、保護者への啓発を図る。

(3) 算数におけるきめ細かな指導の基本的な指導形態

学年	学級編成	指導形態	指導者の配置
4年	2学級を3分割	少人数（習熟度・等質）	担任、教務主任、マイクウンティチャー
5年	2学級を3分割	少人数（習熟度・等質）	担任、教務主任、マイクウンティチャー
6年	2学級を3分割	少人数（習熟度別）	担任、教務主任、マイクウンティチャー

(4) 理科における指導の工夫

- ・観察・実験の充実、科学的思考力の育成を目指した指導を充実させる。
- ・理科室の活用法や予備実験への助言を行い、指導力を高める。
- ・各領域における地域素材を開発し、その活用を通して自然への興味関心を高める。
- ・学習内容を精選し、理科学習の構造化を図る。

(5) 年間指導計画の改善

- ・夏季休業中に年間指導計画の見直しを行う。（活用する知識・技能の明確化、習得した知識・技能を活用する学習活動の設定等）

(6) 家庭学習の充実

- ・教科、学年等に応じた内容や量を共通理解し、実施する。
- ・家庭学習を習慣化する意義を児童、保護者に啓発する。
- ・習慣化を図るための指導及び評価・検証のあり方を研究する。

2 実施上の工夫・配慮事項

- ・研修主任と連携し、組織的・計画的に研修を進めていく。
- ・全国学力・学習状況調査及びN R T標準学力検査等を分析し、児童の実態や課題を明らかにし、授業改善に生かす。
- ・はばたく群馬の指導プラン及び実践の手引きの活用を図る。
- ・管理職をはじめ、互いに授業を参観し、必要に応じて助言したり、よい取組を他の職員に紹介していく。